

立志式

8月25日(火)、中学校課程が修了した中学3年生の「立志式」が厳粛に挙行されました。立志の誓いでは、夢を夢で終わらせるのではなく、夢を目標に変え、そしてその目標を実現するために、勇気を振り絞り宣誓しました。
ここで言葉にしたことを実現できるよう、高校課程も真剣に取り組んでいきます。

- 私は将来、医者になります。なぜなら、医療体制の整っていない地域でも苦しむ人々を一人でも多く救いたいからです。そのために、数学と英語の学習に特に力を入れ、東京大学理科三類に絶対合格します。
- 私の今の目標は京都大学に合格することです。私はそこで、理学を専攻し、気象学や地質学の研究をすることが夢です。より良い研究ができるように、今は自分の勉強を必死にがんばりたいと思います。
- 私は将来、助産師になります。助産師になって、たくさんの新生児と家族を笑顔にしたいです。そのために私は、自分で限界を作らず、何事にも負けないよう心と体を鍛え、しっかりと勉強し、学力をつけることを誓います。
- 私は、これから世界の様々な言語を勉強したいです。巧みに使いこなせるようになり、世界の人々と交流して、日本だけでなく世界でも活躍できるようになります。日本と世界をつなぐ仕事ができるようになりたいです。
- 私は小さい時、病気で入院していました。でも辛い記憶はありません。私に寄りそってくれた先生や看護師さんがいたからです。私も苦しむ人を一人でも減らせるような人になるために学習し、医療の道へ進みたいです。



尾瀬調べ新聞発表会

8月27日(木)に中学1年生の尾瀬調べ新聞発表会が開かれました。尾瀬の四季や動植物、自然保護活動など様々なテーマから1つ選び、調べ学習を進めてきました。今回は、生徒自らが編集長になって作成した新聞を利用して発表を行い、尾瀬についてクラスメイトと情報を共有することができました。

中学1年生の尾瀬・燧ヶ岳登山は9月17日(木)から2泊3日で行う予定です。今回の調べ学習で、尾瀬へ行く楽しみが大きく膨らんだと思います。1つでも多くの発見や疑問を持ち帰り、次回のグループ発表に生かしてほしいと思います。



今の時代に必要なプレゼンテーションの力も育んでいきます。

新聞のまとめ方や発表の仕方を互いに評価し合いました。

写真や図も活用し、丁寧にまとめることができました!

調べただけでは想像がつかないこともあったので、実際に尾瀬に行って見てみたいと思いました。

草野 美有
(二本松市立安達太良小学校出身)

尾瀬にしか咲かない花には絶滅しそうな花があったので絶滅しないでほしいです。尾瀬に咲く珍しい花を見てみたいと改めて思いました。

齋藤 愛実
(桜の聖母学院小学校出身)

尾瀬の由来や成り立ちがわかって楽しかったです。また尾瀬が当て字だったということも分かって驚きました。

齋藤 総士
(福島市立飯坂小学校出身)

絶滅危惧二類のオゼコウホネは、かわいらしくとも美しいと思いました。いつまでもこの自然を守っていただきたいと思います。

渡邊 翔子
(福島市立矢野目小学校出身)

私は、今回なぜ「東京電力」が関係するのかわかることを気にして調べていました。様々な社会的な問題が重なって今の尾瀬があることを知りました。

澤田 真央
(桜の聖母学院小学校出身)

